

# 平成27年度福島県立図書館協議会次第

日 時 平成27年12月4日(金)  
午前10時30分から  
場 所 県立図書館 第1研修室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議 事

(1) 福島県立図書館協議会会長及び副会長の選出

(2) 議事録署名人の選出

(3) 報告事項

① 福島県立図書館の概要について

② 平成27年度図書館利用実績について(4月～10月)

(4) 協議事項

① 「福島県立図書館アクションプラン(第2次)」の取組状況について

(5) その他

## 4 閉 会

## ○福島県立図書館協議会に関する条例

昭和25年8月30日  
条例第54号

最終改正 平成24年3月条例第40号

### (設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号)第14条第2項の規定に基づき、福島県立図書館の適正な運営を図るため、福島県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

### (組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

### (委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

### (庶務)

第6条 協議会の庶務は、福島県立図書館において処理する。

### (雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

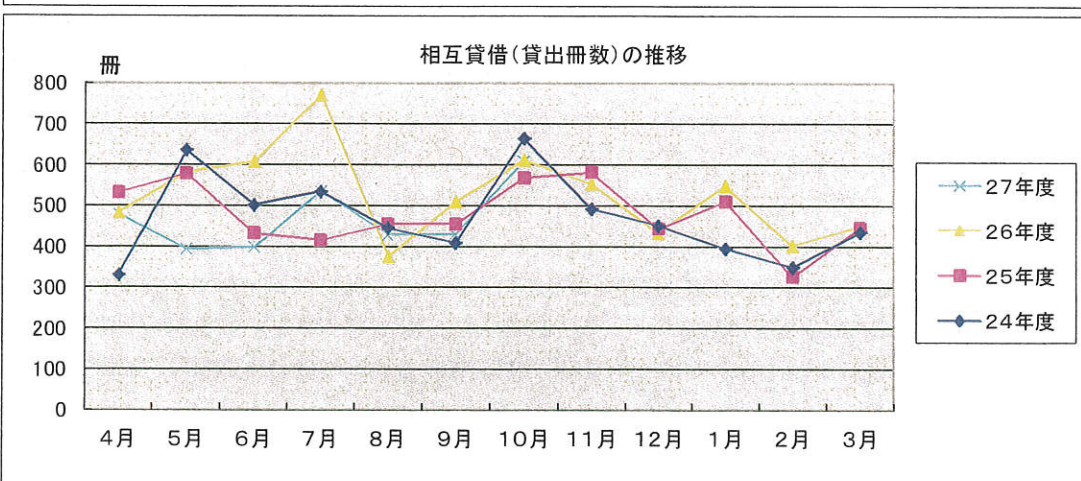
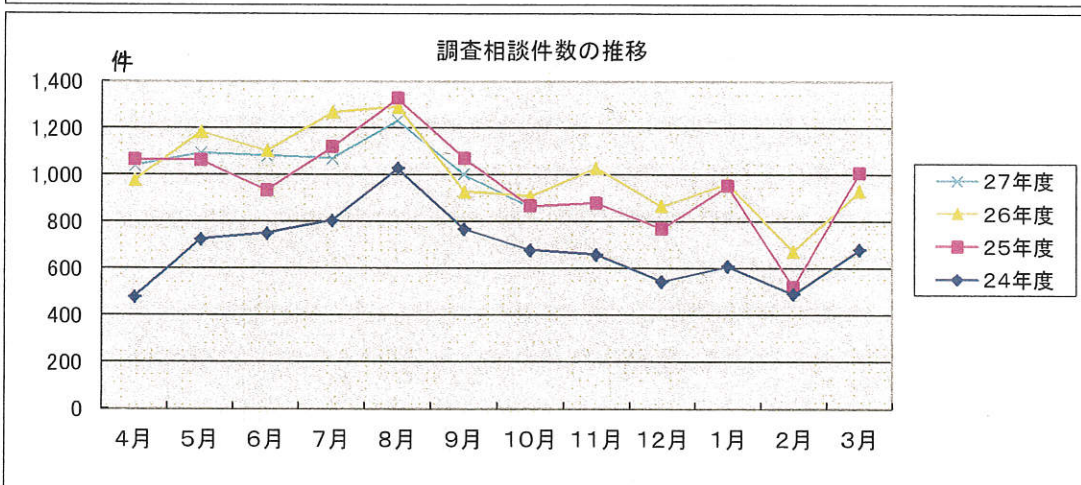
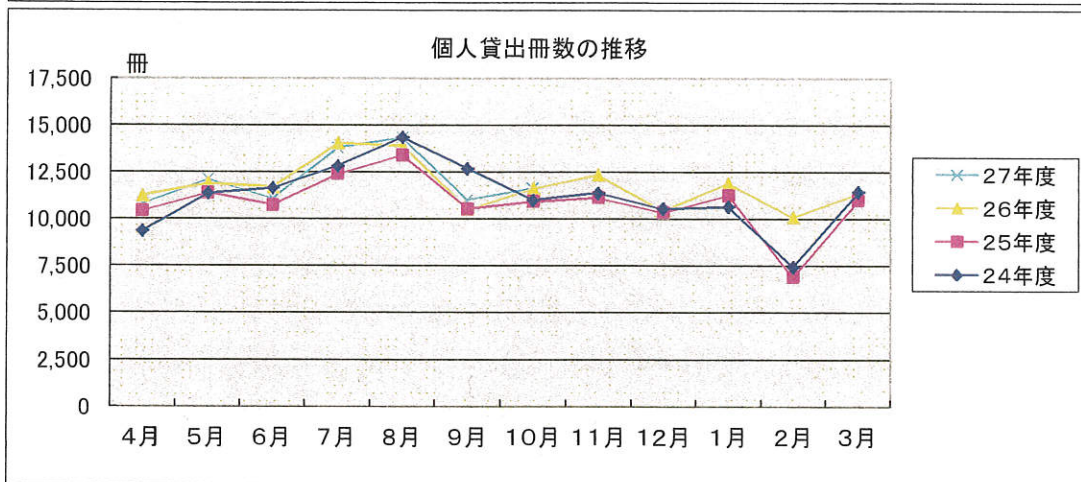
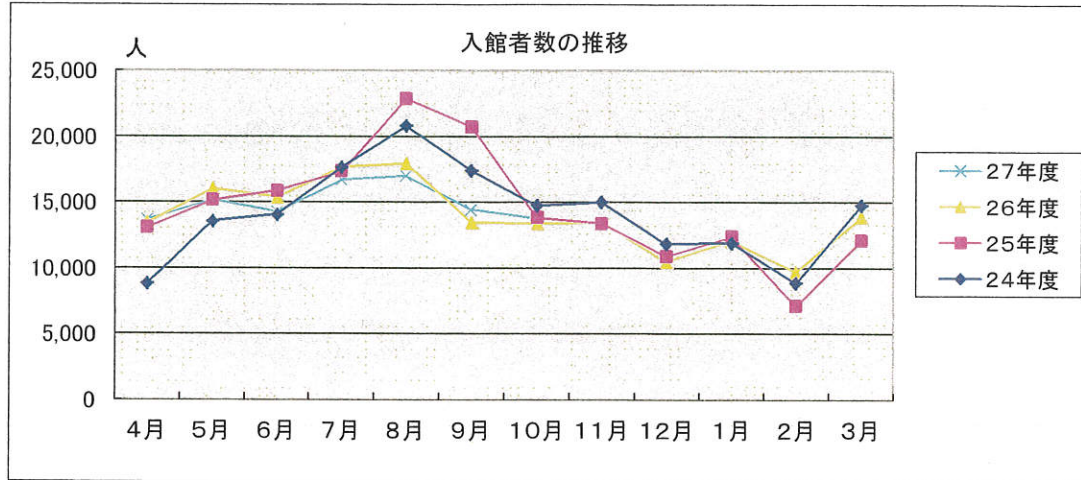
### 附 則 (平成24年3月21日条例第40号)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に改正前の福島県立図書館協議会に関する条例第2条の委員である者は、その残任期間中は、改正後の福島県立図書館協議会に関する条例第3条第1項の規定により任命された福島県立図書館協議会の委員とみなす。

# 図書館利用実績

福島県立図書館

平成27年10月現在



平成27年度図書館利用実績【4月～10月分】

1. 入館者数及び開館日数

区分	入館者数		開館日数		一日当たり入館者数	
	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計
平成27年度		105,162		178		591
		64.0		173		64.0
平成26年度	167,097	107,401	283	176	590	621
		65.4		176		67.3
平成25年度	174,911	118,998	285	173	614	676
		72.4		173		73.3
平成24年度	169,623	107,180	283	178	599	620
		65.2		178		67.1
平成23年度	85,545	40,569	209	90	409	451
		24.7		90		48.8
平成22年度	232,133	164,262	269	178	863	923
		100.0		178		100.0

こどものへや入館者数(再掲)

区分	入館者数		一日当たり入館者数	
	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計
平成27年度		35,079		197
		64.4		197
平成26年度	51,683	33,396	183	193
		61.4		193
平成25年度	50,649	34,298	178	195
		63.0		195
平成24年度	55,296	36,233	195	209
		66.6		209
平成23年度	42,917	22,043	205	245
		40.5		245
平成22年度	78,204	54,429	291	306
		100.0		306

※ 東日本大震災による被災のため、平成23年3月12日から7月14日までの125日間休館した。  
 ※ 平成23年7月15日からエントランス等の一部を利用して開館した。(～平成24年4月22日)

2. 登録者数

区分	新規		更新		合計	
	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計
平成27年度		2,045		866		2,911
		68.3		866		65.9
平成26年度	3,577	2,353	1,260	785	4,837	3,138
		78.6		785		59.7
平成25年度	3,285	2,138	1,452	975	4,737	3,113
		71.5		975		74.2
平成24年度	3,248	2,212	1,773	1,196	5,021	3,408
		73.9		1,196		91.0
平成23年度	2,019	1,074	996	536	3,015	1,610
		35.9		536		40.8
平成22年度	4,171	2,992	1,831	1,314	6,002	4,306
		100.0		1,314		100.0

3. 貸出利用者数

区分	貸出利用者数	
	年度合計	震災前同期比
平成27年度	23,521	69.6
平成26年度	24,066	71.2
平成25年度	22,428	66.4
平成24年度	23,150	68.5
平成23年度	8,118	24.0
平成22年度	33,783	100.0

4. 貸出冊数

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計
総記	2,331	1,586	1,049	390	1,776	1,066	1,574	995	1,901	1,126	1,031	65.0
哲学宗教	5,976	3,913	1,706	665	4,294	2,595	4,262	2,570	4,639	2,656	2,492	63.7
歴史地理	9,470	6,093	3,220	1,114	7,431	4,558	7,089	4,082	7,636	4,497	4,311	70.8
社会科学	15,872	10,372	5,488	1,737	11,887	7,225	11,000	6,497	12,469	7,096	6,428	62.0
自然科学	9,791	6,655	3,261	1,315	6,995	4,355	6,947	4,210	7,748	4,611	4,409	66.3
工学工業	9,152	6,128	3,504	1,392	7,151	4,425	6,824	3,949	7,186	4,369	4,031	65.8
産業	5,569	3,811	1,097	381	3,259	1,979	3,006	1,861	3,633	2,058	2,146	56.3
芸術	10,150	6,901	2,909	979	8,498	5,065	8,338	5,071	8,951	5,464	4,968	72.0
語学	1,925	1,205	669	271	1,216	733	1,226	724	1,366	798	792	65.7
文学	25,305	16,993	9,017	2,713	19,197	11,784	20,337	12,316	21,094	12,499	11,603	68.3
地域資料	7,601	5,112	4,079	1,252	8,525	5,476	7,637	4,738	7,288	4,322	4,382	85.7
新聞雑誌	10,137	6,401	2,936	1,153	8,797	5,389	8,224	4,784	8,860	5,151	5,178	80.9
計	113,279	75,170	38,935	13,362	89,026	54,650	86,464	51,797	92,771	54,647	51,771	68.9
児童	74,384	49,749	32,359	15,155	45,841	28,683	44,081	28,074	48,420	30,323	33,134	66.6
合計	187,663	124,919	71,294	28,517	134,867	83,333	130,545	79,871	141,191	84,970	84,905	68.0

5. 調査相談件数

区分	一般				児童				合計			
	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比
平成27年度		5,610	77.0		1,785	148.1		7,395			7,395	87.1
平成26年度	9,838	6,141	84.3	2,295	1,524	126.5	12,133	7,665			7,665	90.3
平成25年度	9,203	5,742	78.8	2,382	1,710	141.9	11,585	7,452			7,452	87.8
平成24年度	6,918	4,408	60.5	1,314	835	69.3	8,232	5,243			5,243	61.8
平成23年度	3,277	1,513	20.8	954	581	48.2	4,231	2,094			2,094	24.7
平成22年度	10,893	7,284	100.0	1,698	1,205	100.0	12,591	8,489			8,489	100.0

6. 相互貸借 (図書館間の貸借)

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度						
	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比					
県内分																	
貸出件数	1,102	701	100.0	618	249	35.5	929	584	83.3	971	605	86.3	1,057	660	94.2	614	87.6
貸出冊数	5,736	3,912	100.0	3,645	1,328	33.9	4,933	3,146	80.4	4,948	2,957	75.6	5,523	3,429	87.7	2,879	73.6
借用件数	127	75	100.0	79	42	56.0	89	57	76.0	85	49	65.3	120	57	76.0	74	98.7
借用冊数	169	101	100.0	101	53	52.5	122	83	82.2	114	69	68.3	169	86	85.1	152	150.5
県外分																	
貸出件数	506	315	100.0	206	60	19.0	434	235	74.6	534	327	103.8	507	324	102.9	267	84.8
貸出冊数	783	467	100.0	351	91	19.5	724	384	82.2	801	484	103.6	808	514	110.1	406	86.9
借用件数	107	69	100.0	66	28	40.6	100	58	84.1	84	39	56.5	109	64	92.8	49	71.0
借用冊数	135	83	100.0	101	40	48.2	123	71	85.5	118	60	72.3	152	88	106.0	91	109.6
合計																	
貸出件数	1,608	1,016	100.0	824	309	30.4	1,363	819	80.6	1,505	932	91.7	1,564	984	96.9	881	86.7
貸出冊数	6,519	4,379	100.0	3,996	1,419	32.4	5,657	3,530	80.6	5,749	3,441	78.6	6,331	3,943	90.0	3,285	75.0
借用件数	234	144	100.0	145	70	48.6	189	115	79.9	169	88	61.1	229	121	84.0	123	85.4
借用冊数	304	184	100.0	202	93	50.5	245	154	83.7	232	129	70.1	321	174	94.6	243	132.1

7. インターネット端末の利用状況

区分	一般			児童			合計		
	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比
平成27年度		4,244	67.5		42	18.0		4,286	65.8
平成26年度	6,707	4,086	65.0	83	73	31.3	6,790	4,159	63.8
平成25年度	5,638	3,710	59.0	61	51	21.9	5,699	3,761	57.7
平成24年度	5,566	3,520	56.0	118	97	41.6	5,684	3,617	55.5
平成23年度	3,395	1,452	23.1	157	112	48.1	3,552	1,564	24.0
平成22年度	8,824	6,283	100.0	325	233	100.0	9,149	6,516	100.0

8. 資料宅配サービス利用状況

区分	件数			冊数		
	年度合計	4～10月計	震災前同期比	年度合計	4～10月計	震災前同期比
平成27年度		20	200.0		130	276.6
平成26年度	26	15	150.0	195	110	234.0
平成25年度	42	26	260.0	265	148	314.9
平成24年度	69	46	460.0	450	311	661.7
平成23年度	30	9	90.0	215	58	123.4
平成22年度	26	10	100.0	151	47	100.0

※ 資料宅配サービスは、平成22年6月からサービス対象地域を相双・会津地域と限定してスタートし、その後、平成23年7月からサービス対象地域を福島県内とした。



## 『福島県立図書館アクションプラン（第2次）』の取組状況について（平成27年10月末現在）

『福島県立図書館アクションプラン（第2次）』の実施期間は、平成25年度から平成29年度までとなっています。平成27年度はプランの3年目であり、取組状況は以下のとおりです。

## I 東日本大震災等により失われた読書環境、学習環境を取り戻します。

事業	具体的な取組	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
1 東日本大震災等の記録を のこします。	①「東日本大震災福島県復興 ライブラリー」の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災、原発事故及び復興関連資料の継続的な収集、整理、保存を図る。</li> <li>関連資料の寄贈の呼びかけを積極的に行い、網羅的な収集に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「東日本大震災福島県復興ライブラリー」の整備を図るため、資料の選定・購入・寄贈の呼びかけを行い、整理、提供している。(継続)</li> <li>(蔵書冊数 24年度：7,141冊, 25年度：9,512冊, 26年度：12,276冊, 27年10月：13,372冊)</li> </ul>
	②関係機関との協力体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>「東日本大震災記録保存活用事業」、県内の図書館等と連携し、資料の収集・保存・提供と活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「東日本大震災復興ライブラリー資料一覧」を作成している。(継続)</li> <li>(平成25年度以降、半年に1度[3月、9月]発行)</li> <li>「東日本大震災復興ライブラリーブックガイド」を作成し、利用の促進に努めている。(継続)(No.16まで発行済み。)</li> <li>県内外の施設での震災復興ライブラリーの出張展示を実施するとともに、広報に努めている。(25～)</li> <li>(25年度：4か所, 26年度：1か所, 27年度：1か所)</li> <li>「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」の作成、半年毎の更新に努めている。(25～)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>県立図書館としての支援の記録を作成し公開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内市町村立図書館、公民館図書室等の状況をまとめるため、「東日本大震災の被災及び復興状況(2014.1.31まとめ)」を作成した(25)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>国立国会図書館、福島県の「東日本大震災記録保存活用事業」、県内の図書館等と連携し、資料の収集・保存・提供と活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外の施設での震災復興ライブラリーの出張展示を実施するとともに、広報に努めている。(25～)(再掲)</li> <li>国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」へ当館所蔵資料のデータを提供している。(25～)</li> <li>東日本大震災アーカイブワークショップに職員を派遣している。(継続)</li> </ul>

事業	具体的な取組	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
<p>2 支援体制の基盤を整備します。</p>	<p>①避難自治体及び避難者受入自治体との連携 自治体との連携</p>	<p>・避難自治体及び避難者受入自治体との連絡を密にし、読書環境等に関する支援ニーズの把握に努める。</p>	<p>平成27年10月までの取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難自治体への支援として以下の事業を実施した。（事業内容の詳細は別添一覧を参照）</li> <li>・大熊町図書館、富岡町図書館への一次立ち入り時に当館職員が同行し、状況の把握を行った。（25）</li> <li>・飯館村教育委員会の求めに応じ、移動図書館の図書整理、運用等について運営相談を実施した。（継続）</li> <li>・広野町公民館図書室を訪問し、貸出資料を回収するとともに、当館の事業について説明し状況を聞き取った。（26）</li> <li>・浪江町教育委員会の求めに応じ、仮設小学校の図書整備、資料の充実について運営相談を実施、日本図書館協会からの支援に結びつけた。（27）</li> <li>・県内の避難自治体の仮設住宅・仮設校舎に対し移動図書館「あづま号」の巡回を実施している。（継続）</li> <li>・避難者受入自治体である会津若松市、いわき市等と連絡調整事務を行い支援ニーズの把握に努めた。（継続）</li> </ul>
<p>3 読書環境・学習環境の整備を通じて「ふるさと再生」を支援します。</p>	<p>②支援団体とのネットワークづくり</p>	<p>・図書館関係機関や支援団体等への窓口となり、寄せられる支援情報について整理し、被災した自治体に対して的確な情報提供に努める。</p> <p>・仮設住宅及び仮設校に対して、支援を受けた資料の中から希望するものを揃え提供する。</p> <p>・仮設住宅及び仮設校に対し、移動図書館の巡回により資料の貸出を行う。</p> <p>・避難先において、仮設図書館、移動図書館等の業務を行う自治体に対して支援貸出を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本図書館協会、国際ボランティア団体シャランティ、楽天株式会社等と支援に関する情報提供、意見交換を行った。（継続）</li> <li>・38の市町村教育委員会に対し、県内外の自治体、団体、個人から支援された資料4,644冊を提供した。（25）</li> <li>・県内の避難自治体の仮設住宅・仮設校舎に対し移動図書館「あづま号」の巡回を実施している。（継続）（再掲）</li> <li>・新設の県立ふたば未来学園の開学に当たり、運営相談、資料の貸出・提供等を実施した。（27）</li> </ul>
<p>②避難者受入自治体への支援</p>	<p>①避難自治体への支援</p>	<p>・図書館、公民館の帰還再開に向けて、各自治体の要望に応じた支援が行えるよう努める。</p> <p>・避難している県民に対して、「ふるさとに関する情報」の提供を行う。</p> <p>・相互貸借・支援貸出等により、それぞれの自治体に応じた支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大熊町図書館、富岡町図書館への一次立ち入り時に当館職員が同行し、状況の把握を行った。（25）（再掲）</li> <li>・広野町公民館図書室を訪問し、貸出資料を回収するとともに、当館の事業について説明し状況を聞き取った。（26）（再掲）</li> <li>・「地元新聞にみる原発関連見出し一覧」の作成、半年毎の更新に努めている。（25～）（再掲）</li> <li>・当館資料情報サービス部発行の機関誌である「福島県郷土資料情報」に雑誌、市町村広報誌等に掲載された東日本大震災関連記事一覧をまとめた。（25～）</li> <li>・避難者受入自治体である会津若松市、いわき市等と連絡調整事務を行い支援ニーズの把握に努めた。（継続）（再掲）</li> </ul>

事業	具体的な取組	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
3 読書環境・学習環境の整備を通じて「ふるさと再生」を支援します。	③被災した図書館・公民館図書室等への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災により生じた汚破損資料の補完及び貸出等について、個々の状況に応じた支援を行う。</li> <li>被災した郷土資料等の保存・デジタル化等について、県内の図書館等に対して助言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大熊町図書館、富岡町図書館への一次立ち入り時に当館職員が同行し、状況の把握を行った。(25) (再掲)</li> <li>飯館村教育委員会の求めに応じ、移動図書館の図書整理、運用等について運営相談を実施した。(再掲)</li> <li>広野町公民館図書室を訪問し、貸出資料を回収するとともに、当館の事業について説明し状況を聞き取った。(26) (再掲)</li> <li>新設の県立ふたば未来学園の開業に当たり、運営相談、資料の貸出・提供等を実施した。(27) (再掲)</li> </ul>

## II 県民一人ひとりのお役に立てるよう図書館環境を整えます。

事業	具体的な取組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
1 県民が必要とする情報を提供します。	①県立図書館としての蔵書の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県及び県の関係機関、団体の発行する資料の収集はもとより、県内外で発行される福島県関連資料の収集・整理・保存に努める。</li> <li>県民が、生活に必要な情報を入力し、生涯を通じた学習を行い、文化的な生活をおくるために、必要な資料を提供するため、参考資料(事典、白書、統計、図鑑等)の充実に努める。</li> <li>市町村立図書館の活動を支援する図書館として、相互貸借を通して市町村立図書館の利用者からのニーズに対応できる蔵書構築を行う。</li> <li>長期的な資料保存の重要性を考慮し、貴重資料・新聞等のデジタル化を計画的に進める。</li> <li>蔵書統計・利用統計を活用し、資料の収集に役立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の全ての部署に対し、資料を発行する際に県立図書館への寄贈を呼びかけている。(再掲)</li> <li>県内の自治体や団体、個人が発行する資料の収集に努めている。(再掲)</li> <li>福島市出身の詩人長田弘氏(平成27年5月没)の旧蔵書を受け入れるため、事前の準備作業を実施している。(27)</li> <li>利用の実態を踏まえ、参考資料の充実に努めるとともに、資料の収集と整理提供に努めている。(再掲)</li> <li>市町村立図書館等からの資料購入希望も踏まえながら、資料の選定を行っている。(再掲)</li> <li>貴重資料について、随時デジタル化を実施し、ホームページ等で公開している。(再掲)</li> <li>デジタル化した地方紙について、ボランティアの協力により記事見出しの入力に努め、一覧をホームページで公開している。(再掲)</li> <li>利用統計を月毎に、蔵書統計を年度毎にまとめ、業務に生かしている。(再掲)</li> </ul>

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
<p>1 県民が必要とする情報を提供します。</p> <p>②課題解決のための支援の実</p>	<p>・調査相談カウンターの特徴を活かし、利用者に対して効率的な情報及び資料提供を図る。</p> <p>・相談事例のデータベース作成・公開に努める。</p> <p>・調査相談の統計を活用し、利用者のニーズを分析することで、的確な情報提供に努める。</p> <p>・オンラインデザインデータベース（「日経テレコン21」等）の活用を図るため、各種案内、利用説明講座等を実施する。</p> <p>・子育て支援に関する資料及び情報を提供する。</p> <p>・医療・健康に関する資料及び情報を提供する。</p> <p>・高齢社会に対応する資料及び情報を提供する。</p> <p>・就業を支援する情報、ビジネスに役立つ情報を提供する。</p> <p>・調査に役立つ、リンク集等Webコンテンツを充実させる。</p> <p>・福島県に関する資料（地域資料）の目次・索引などを計画的にデータベース化し、インターネットで公開する。</p> <p>・行政資料を収集・保存し、県民にわかりやすいように整理し、提供する。</p> <p>・自治体職員の求めに応じた調査、資料・情報の提供を行う。</p> <p>・広報紙の配布等により、自治体職員に対し県立図書館の機能を周知する。</p>	<p>・調査相談カウンターの特徴を活かし、利用者に対して効率的な情報及び資料提供を図る。</p> <p>・相談事例のデータベース作成・公開に努める。</p> <p>・調査相談の統計を活用し、利用者のニーズを分析することで、的確な情報提供に努める。</p> <p>・オンラインデザインデータベース（「日経テレコン21」等）の活用を図るため、各種案内、利用説明講座等を実施する。</p> <p>・子育て支援に関する資料及び情報を提供する。</p> <p>・医療・健康に関する資料及び情報を提供する。</p> <p>・高齢社会に対応する資料及び情報を提供する。</p> <p>・就業を支援する情報、ビジネスに役立つ情報を提供する。</p> <p>・調査に役立つ、リンク集等Webコンテンツを充実させる。</p> <p>・福島県に関する資料（地域資料）の目次・索引などを計画的にデータベース化し、インターネットで公開する。</p> <p>・行政資料を収集・保存し、県民にわかりやすいように整理し、提供する。</p> <p>・自治体職員の求めに応じた調査、資料・情報の提供を行う。</p> <p>・広報紙の配布等により、自治体職員に対し県立図書館の機能を周知する。</p>	<p>平成27年10月までの取組状況</p> <p>・統計の記録方法を見直し、従来よりも詳細な利用統計を記録することとし、今後の分析に備えた。(25)</p> <p>・国立国会図書館のレファレンス協同データベースに対し、当館のレファレンス事例を提供している。(継続)</p> <p>(25年度：30件、26年度：5件、27年度：提供に向け作業中)</p> <p>・統計の記録方法を見直し、従来よりも詳細な利用統計を記録することとし、今後の分析に備えた。(25) (再掲)</p> <p>・データベース端末周辺のサイン、案内を見直した。(25～)</p> <p>・本の森への道しるべ「新聞の調べ方」を更新し、オンラインデザインデータベース等の利用について紹介した。(26)</p> <p>・子育て支援コーナーの資料の充実に努めている。(25～)</p> <p>・県立医科大学衛生学予防医学講座との連携により、講演会を開催している。(継続)</p> <p>・医療、健康、高齢社会に関する資料の充実に努めている。(継続)</p> <p>・県民のために働く自治体職員を情報面で支援するため、福島県自治研修センターの受講者（県市町村職員）に対し、行政支援サービス周知のためのチラシを配布している。(継続)</p> <p>・雑誌コーナーにビジネス関連雑誌のコピーを設け、利用に供している。(継続)</p> <p>・図書館で発行する「本の森への道しるべ」「福島県郷土資料情報」等各種二次資料について、ホームページへの掲載と公開を進めた。(継続)</p> <p>・ホームページのデザインを見直した。(26)</p> <p>・収集した福島県に関する資料の目次を目録化し、目次の情報から検索可能にしている。(継続)</p> <p>・県の全ての部署に対し、資料を発行する際に県立図書館への寄贈を呼びかけている。(継続) (再掲)</p> <p>・県内の自治体や団体、個人が発行する資料の収集に努めている。(継続) (再掲)</p> <p>・県民のために働く自治体職員を情報面で支援するため、福島県自治研修センターの受講者（県市町村職員）に対し、行政支援サービス周知のためのチラシを配布している。(継続) (再掲)</p>

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
<p>1 県民が必要とする情報を提供します。</p>	<p>③人と資料を結ぶ情報の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的関心が高いテーマについて新規のパスファインダーを作成し、計画的に内容を更新していく。</li> <li>・県民が知りたいと思う情報の要求に対応できる資料や情報を紹介するため、「福島県郷土資料情報」等を定期的に発行する。</li> <li>・館内で企画展示、時事展示、ミニ展示等を実施する。</li> <li>・県内図書館や文化関連機関等の関係機関と連携し、館外での移動展示会を実施する。</li> <li>・生活情報や生涯学習意欲を喚起するテーマの講座を、関係機関とも連携し開催する。併せて関連資料の展示やリストの作成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と資料を結びつけるため、パスファインダー「本の森への道しるべ」等の作成、更新、提供に努めている。(継続)</li> <li>・「福島県郷土資料情報」、「地元紙記事見出し一覧」等各種情報誌の発行を行っている。(継続)</li> <li>・人と資料を結びつけるため、社会的関心が高いテーマ、時宜に併せたテーマについて、館内で企画展示、時事展示、ミニ展示等を実施するとともに、各地で出張展示を実施している。(継続)</li> <li>(平成25年度：53件、平成26年度：69件、平成27年10月末：54件)</li> <li>・人と資料を結びつけるため、各種イベント等を館外においても実施するとともにそれに併せて県内の各種施設で図書館資料の展示を行っている。(継続)</li> <li>・生活情報の提供や生涯学習意欲を喚起するため、さまざまな機関と連携し講演会・講座を開催している。併せて資料の展示を行い、資料リストを作成している。(継続)</li> <li>(連携機関の例：福島県立医科大学、福島県文化財センター白河館、福島県歴史資料館、福島市史編纂室、磐梯山噴火記念館、福島サイエンスぷらっとフォーラム等)</li> </ul>
	<p>④職員の専門性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・的確な情報の把握と検索能力向上のため、積極的な研修への参加に努める。</li> <li>・職員一人ひとりが自己研さんに取り組み職場環境の醸成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立国会図書館との人事交流を通じ、職員の研修を深めると同時に情報交換に努めている。(27)</li> <li>・県内外の大会・研修会に職員を派遣し、職員全体等で伝達研修を行い、知識の共有化に努めている。(継続)</li> <li>・休館日の職員全体会にあわせて、職員研修を実施している。(26～)</li> </ul>

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
2 県民が利用しやすい環境を整備します。	①図書館利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速かつ有効な広報に努める。</li> <li>・広報手段として、見やすく使いやすいホームページの作成に努める。</li> <li>・メールマガジン等を用いた、迅速な広報に努める。</li> <li>・利用者向けに図書館活用方法を周知するための講座を実施する。例：「蔵書検索使い方の講座」、「調べ物講座」、「インターネット利用講座」等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当館HP、県庁記者クラブ、県の広報紙をはじめ各種広報媒体を通じ、随時図書館の活動について広報に努めている。(継続)</li> <li>・効果的な広報を行うため、図書館刊行物の見直しを行った。(26)</li> <li>・見やすく使いやすいHPの作成のため、「福島県立図書館情報ネットワークシステム」の更新に併せてHPを更新し、表示項目、内容の整理の実施、読み上げ機能の追加等を実施した。(26)</li> <li>・迅速な広報の手段について、SNS等の活用の可能性の検討を行うとともに、関連の研修に職員を派遣した。(27)</li> </ul>
	②図書館内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆無線LAN、Wi-Fi等、次世代の図書館利用に必要と思われつつあるネットワーク環境について検討する。</li> <li>・ユニバーサルデザインの方に基づいた、わかりやすいサイン・マップ等の整備に努める。</li> <li>・図書館利用に障がいのある人も利用しやすい環境と体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福島県立図書館情報ネットワークシステム」を更新し、サービスの向上を図った。(26,27)</li> <li>・見やすく使いやすいHPの作成のため、「福島県立図書館情報ネットワークシステム」の更新に併せてHPを更新し、表示項目、内容の整理の実施、読み上げ機能の追加等を実施した。(26)(再掲)</li> <li>・館内で国立国会図書館の歴史の音源の視聴について提供を開始した。(25～)</li> <li>・館内で国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」に参加、提供を開始した。(26～)</li> <li>・館内でWi-Fi(ソフトバンク)を利用できる環境を整備した。(25～)</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすく分かったりわかりやすい館内環境を目指し、館内案内図、書架サインの見直しを実施し、利用者の方にわかりやすいサイン・マップの整備に努めた。(25～)</li> <li>・来館の困難な方を対象とした、資料の宅配サービス、郵送による利用者登録とパスワードの発行を実施し、当館ホームページで広報に努めるほか、県内図書館・公民館図書室、仮設住宅集会所等にチラシ・ポスターの設置を依頼した。(25～)</li> </ul>

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
2 県民が利用しやすい環境を整備します。	③ 図書館利用手段の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内全域及び県外避難者への宅配サービスの普及に努める。</li> <li>・ 県内全域及び県外避難者への郵送等による利用者登録、パスワード登録の普及に努める。</li> <li>・ インターネットによる予約の周知に努める。</li> <li>・ 遠隔地返却の周知に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来館の困難な方を対象とした、資料の宅配サービス、郵送による利用者登録とパスワードの発行を実施し、当館ホームページで広報に努めるほか、県内図書館・公民館図書室、仮設住宅集会所等にチラシ・ポスターの設置を依頼した。(25～)(再掲)</li> <li>・ 「福島県立図書館情報ネットワークシステム」を更新するにあたり、「マイライブラリー」機能、「新着図書お知らせ」機能などを付加し、インターネットを通じた図書館利用促進を図った。(26)</li> <li>・ 返却期限票の裏面等を利用し、ネットサービスの周知を図っている。(継続)</li> <li>・ 在庫資料予約、いわゆる「あるもの予約」を提供開始する。(平成27年度実施予定)(27)</li> </ul>
3 県民と共に歩む図書館を目指します。	④ 新たな課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「受取館指定」サービスの導入を検討する。</li> <li>・ 社会情勢の変化や、「電子書籍」等に見られる情報技術の革新による新たな課題への対応を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在検討を行っている。</li> <li>・ 館内でWi-Fi(ソフトバンク)を利用できる環境を整備した。(25～)(再掲)</li> <li>・ 「福島県立図書館情報ネットワークシステム」を更新するにあたり、「マイライブラリー」機能、「新着図書お知らせ」機能などを付加し、インターネットを通じた図書館利用促進を図った。(26～)(再掲)</li> </ul>
3 県民と共に歩む図書館を目指します。	① 県民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有識者等を委員とする図書館協議会を開催し、県民の意見を反映した図書館活動の展開を目指す。</li> <li>・ ホームページ等により、県立図書館への意見を随時受け付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館協議会を開催し、提案を運営に反映している。(継続)</li> <li>・ ご意見箱により利用者から意見を受け付け、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(25～)</li> <li>・ 新聞等の投書欄に寄せられた意見について、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(27)</li> <li>・ HPで意見を受け付け、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(25～)</li> <li>・ ご意見箱により利用者から意見を受け付け、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(25～)(再掲)</li> <li>・ 新聞等の投書欄に寄せられた意見について、検討結果を館内に掲示するほか、HPで公開している。(27)(再掲)</li> <li>・ アクションプランの取り組み状況について、分析と評価を図書館協議会等で公表している。(継続)</li> <li>・ 福島県公共図書館協会で「実務担当者会」を開催し、市町村図書館等のニーズを聞き取りとともに、各種研修等でのアウテックを実施し、ニーズの把握に努めている。(継続)</li> <li>・ 把握したニーズに基づき、研修の実施、事業の改善に努めている。(継続)</li> </ul>

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
<p>3 県民と共に歩む図書館を目指します。</p>	<p>②県民の文化振興への寄与</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業への共催、後援、職員派遣等を行う。</li> <li>・県民の文化活動を支援するため、研修室を提供する。</li> <li>・成果発表の場として展示スペースを提供する。(ロビー展示)</li> <li>・ボランティア活動を通じた県民協働の図書館づくりを目指す。</li> <li>・生活情報や生涯学習意欲を喚起するテーママの講座を、関係機関とも連携し開催する。併せて関連資料の展示やリストの作成を行う。(再掲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移転30周年記念事業として、文化講演会の開催、貴重資料の展示、各種講座の開催、大人向け図書館見学ツアー、親子向け図書館探検、おはなしかい等を開催した。(26)</li> <li>・各種団体と連携し、朗読会、講演会等を開催している。(継続)</li> <li>・読書活動推進団体に研修室を提供している。(継続)</li> <li>・学校の長期休業にあわせ、研修室を自習スペースとして開放している。(26～)</li> <li>・個人団体へ成果発表の場として館内ロビースペースを提供している。(継続)</li> <li>・資料整理、データ入力、発送梱包等の作業に、図書館ボランティアによる活動支援を受けている。(継続)</li> <li>・ボランティア向けの研修として、白河市立図書館の見学を実施した(27)</li> <li>・生活情報の提供や生涯学習意欲を喚起するため、さまざまな機関と連携し講演会・講座を開催した。併せて資料の展示を行い、資料リストを作成している。(継続)</li> <li>(再掲)</li> <li>(連携機関の例：福島県立医科大学、福島県文化財センター白河間、福島県歴史資料館、福島市史編纂室、磐梯山噴火記念館、福島サイエンスぷらっとフォーラム等)</li> </ul>



Ⅲ 福島県の子どもたちの読書活動を推進します。

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
<p>1. 『福島県子ども読書活動推進計画(第2次)』に基づき、県立図書館の役割を果たします。</p>	<p>①資料の収集・提供を通じた支援の実施</p>	<p>・「こどものへや」の役割として、児童資料の収集を積極的に行い、提供する。</p> <p>・「児童図書館研究室」の役割として、児童図書館資料の充実を図り、提供する。</p> <p>・障がいのある子どもや、日本語が母国語ではない子どもが、本や図書館と親しめるよう、ユニバーサルデザインの方に基づき資料や多言語・多文化を考慮した資料を収集し、提供する。</p> <p>・市町村立図書館等からの要望に応えるため、児童資料及び子ども読書活動に関する資料をまとめたセットや大型絵本などの貸出を行う。</p>	<p>・資料の収集と整理提供に努めている。(継続)</p> <p>・時宜に合わせて、こどものへやで資料の展示を行っている。(継続)</p> <p>・県内市町村立図書館等からの求めに応じ、セット資料、大型絵本の貸出を行っている。(継続)</p> <p>・多文化を考慮した資料として、ブックリスト「本はともだち 子どもと楽しむか」のむかしはなし」を作成した。(27)</p>

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
<p>1 『福島県子ども読書活動推進計画(第2次)』に基づき、県立図書館の役割を果たします。</p>	<p>②子どもの読書活動を推進するための情報の提供</p>	<p>・「おはなしかい」や図書館見学等を実施し、子どもが読書に親しむ機会を提供する。</p> <p>・子どもからの調査相談に対し、興味・関心を伸ばせるよう積極的に対応する。</p> <p>・子どもからの読書活動に関わる大人からの調査相談に対し、子どもたちの読書活動推進につながるよう積極的に対応する。</p> <p>・子どもからの読書活動推進に役立つ二次資料の作成と発信を行う。</p> <p>・市町村立図書館及び子どもの読書活動を推進する関係者等への情報提供や助言、研修会への講師派遣などを行う。</p>	<p>・定期的に「おはなしかい」、「ちいさなおはなしかい」等を開催している。(継続)</p> <p>・幼稚園や学校などからの要望に応じ、館内見学やおはなしかいを行っている。(継続)</p> <p>・県立美術館との連携により「あーとなおはなしかい」を開催している。(継続)</p> <p>・幼稚園や学校などからの要望に応じ、館内見学やおはなしかいを行っている。(継続)</p> <p>・移転30周年記念事業として、おはなしかい、親子向け図書館見学等を実施した。(26)</p> <p>・美術館の展示にあわせ、美術館でおはなしかいを実施した。(26)</p> <p>・関係機関と連携し子ども向け講座を開催している。(26)</p> <p>・関係機関と連携し子ども向け講座を開催している。(継続)</p> <p>・県社会教育課主催の「読書と科学のコラボ事業」として各種事業、イベントに職員を派遣した。(25)</p> <p>・ふくしまサイエンスぶらっとフォーラム主催のサイエンス屋台村に参加し、資料の展示を行った。(25～)</p> <p>・県教委主催の「こどもの本がっつなぐスマイルプロジェクト」を主管し、県内2カ所で、講演会の開催、資料の展示、読書相談等を実施するとともに、ブックリストを作成し配布した。(26～)</p> <p>・県社会教育課主催の「子ども読書活動推進研修講座」(県内各地域の子どもの読書ボランティアを養成する講座)に当館職員を講師として派遣した。(25)</p> <p>・児童図書研究室ニュース、LITTLE BIG等を作成し情報発信している。(継続)</p> <p>・児童図書研究室ニュース、LITTLE BIG、本の森への道しるべ等を作成し情報を発信している。(継続)</p> <p>・県教委主催の「こどもの本がっつなぐスマイルプロジェクト」を主管し、県内2カ所で、講演会の開催、資料の展示、読書相談等を実施するとともに、ブックリストを作成し配布した。(26～)</p> <p>・児童図書研究室ニュース、LITTLE BIG、本の森への道しるべ等を作成し情報を発信している。(継続)</p> <p>・県教委主催の「こどもの本がっつなぐスマイルプロジェクト」を主管し、県内2カ所で、講演会の開催、資料の展示、読書相談等を実施するとともに、ブックリストを作成し配布した。(26～)</p> <p>・県内市町村からの求めに応じ、研修会へ当館職員を講師として派遣している。(継続)</p> <p>・県社会教育課主催の「子ども読書活動推進研修講座」(県内各地域の子どもの読書ボランティアを要請する講座)に当館職員を講師として派遣した。(25)(再掲)</p> <p>・県教委主催の「こどもの本がっつなぐスマイルプロジェクト」を主管し、県内2カ所で、講演会の開催、資料の展示、読書相談等を実施するとともに、ブックリストを作成し配布した。(26～)</p> <p>・児童図書研究室ニュース、LITTLE BIG、本の森への道しるべ等を作成し情報を発信している。(継続)</p>

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
1 『福島県子ども読書活動推進計画(第2次)』に基づき、県立図書館の役割を果たします。	③ 学校図書館活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校図書館へ相互貸借や支援貸出を行うと同時に「学校図書館活動支援セット」の充実と有効活用を図る。</li> <li>・ 学校図書館に関わる職員等に対し、学校図書館運営の支援、研修会への講師派遣などを行う。</li> <li>・ 学校教職員の研修等に合わせ、子ども読書活動や図書館の役割について周知する機会を設ける。</li> <li>・ 特別支援学校への移動図書館による支援を行う。</li> <li>・ 市町村立学校については、地元教育委員会・図書館等と共に、地域ネットワークを活かした学校図書館活動を支援し、それぞれが連携し情報を共有できる体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HPを整理し、「学校図書館への支援」のWebサイトを設けた。(26)</li> <li>・ 市町村教育委員会、学校等の求めに応じ、支援貸出を行うとともに、学校図書館活動支援セットの貸出を行っている。(継続)</li> <li>・ 学校図書館活動支援セットの充実と活用を促進している。(継続)</li> <li>・ 学校等の求めに応じ、研修会等へ当館職員を講師として派遣している。(継続)</li> <li>・ 学校の求めに応じ、見学を受け入れるとともに、おはなしかい等を開催している(継続)</li> <li>・ 「初任者研修」の分科会として、学校図書館職員向けの研修を主催している。(継続)</li> <li>・ 中学生の職場体験を受け入れ、図書館の利用と理解を図っている。(継続)</li> <li>・ 僻地の図書を選定している。(継続)</li> <li>・ 福島県優良図書の推薦を行っている。(26～)</li> <li>・ 日常的な移動図書館の利用が困難な利用者の読書活動の支援の一環として、特別支援学校への移動図書館による巡回を実施している。(継続)</li> <li>・ 小学校国語教科書紹介図書所蔵一覧を作成し、HPで公開した。(25)</li> <li>・ 小学校低学年向けブックリスト「本はともだち」を作成した。(26)</li> <li>・ 「児童図書研究室ニュース」で「夏休みの友」参考図書一覧を作成した。(27)</li> </ul>

#### IV 「図書館の図書館」として、図書館の振興を図ります。

事業	具体的な取り組み	事業詳細	平成27年10月までの取組状況
1 図書館・公民館の活動を支援します。	① 県内の図書館・公民館図書室のネットワーク体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「福島県図書館情報ネットワーク」の改善を図る。</li> <li>・ 「福島県内図書館間物流効率化事業」の整備と改善に努め、県内図書館を基幹とした、県内図書館関係機関による相互貸借等の利用推進を図る。</li> <li>・ 福島県公共図書館協会における「実務担当者会議」や「地区別連絡会」を充実させ、県内図書館員間の連携を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「福島県図書館情報ネットワークシステム」の改善のため、更新にあたり、市町村図書館の要望を聞き取り、仕様を反映した。(25～27)</li> <li>・ 「福島県内図書館間物流効率化試行事業」を実施し、市町村立図書館の負担軽減を図った。(25, 26)</li> <li>・ 「福島県内図書館間物流効率化試行事業」の改善を図るため、「実務担当者会議」を開催するなど、要望の聞き取りと体制の改善を図った。(25, 26)</li> <li>・ 県立図書館をハブとした物流の効率化を実施している。(27)</li> <li>・ 県内図書館、公民館図書室職員間の連携を強化するため、福島県公共図書館協会の「実務担当者会議」等を開催し、また地区ごとに開催される「地区別連絡会」に県立図書館職員を派遣している。(継続)</li> <li>・ 協力車通信を発行し、各種情報の提供に努めた。(25)</li> <li>・ 県立図書館の市町村支援図書館の取扱いを見直し、市町村教育委員会、学校、保育園、障がい者施設等を対象とした図書のリサイクル会を開催し、図書の有効活用を図るとともに、各施設読書環境を資料の面で支援した。(26, 27)</li> <li>・ 図書のリサイクル会を、県中地区で開催し、各施設読書環境を資料の面で支援した。(27)</li> </ul>

事業		平成27年10月までの取組状況	
事業	具体的な取り組み	事業詳細	取組状況
1 図書館・公民館の活動を支援します。	②県内の図書館活動の支援	<p>・県内の図書館等からの未解決調査相談への支援に努める。</p> <p>・図書館及び図書館未設置自治体への資料・情報・運営・技術等の支援を行う。</p>	<p>・県内の図書館等から寄せられる調査相談、運営相談に対応している。(継続)</p> <p>・県内の図書館等から寄せられる調査相談・運営相談に対応している。(継続)(再掲)</p> <p>・県内市町村の図書館等に対し、図書館活動支援貸出を実施している。(継続)</p> <p>・県内市町村の図書館を協力車で巡回し、資料の搬送を行うとともに、各館で運営相談を実施している。(継続)</p> <p>・県内図書館未設置町村に対して、移動図書館による巡回を実施し、併せて運営相談等を実施している。(継続)</p> <p>・猪苗代町の図書館設置に向けた相談について、運営相談を実施した。(25,26)</p> <p>・県内の自治体、図書館、学校等からの求めに応じ当館職員を講師として派遣し、出張講座を行っている。(継続)</p>
		<p>・図書館設置を目指す自治体への支援を行う。例：「移動図書館車」「支援貸出」「出張講座」等</p>	<p>・県内図書館未設置町村に対して、移動図書館による巡回を実施し、併せて運営相談等を実施している。(継続)(再掲)</p> <p>・猪苗代町の図書館設置に向けて、運営相談を実施した。(25,26)(再掲)</p> <p>・県内の自治体、図書館、学校等からの求めに応じ当館職員を講師として派遣し、出張講座を行っている。(継続)</p>
	③県内図書館等職員の養成支援	<p>・受講対象者の幅広いニーズに対応できながら専門研修や初任者の研修を推進するなど研修機会の充実を図る。</p>	<p>・「初任者研修」「専門研修」の開催にあたり、ニーズを踏まえながら、研修のテーマを精選している。(継続)</p> <p>・「初任者実務研修」を開催し、県内図書館等の初任者の育成を図るとともに、職員間の交流の促進を目指している。(27)</p> <p>・「館種別研修」を開催し、施設によって多様なニーズを抱える県内市町村図書館等の職員の要望に応えた。(27)</p> <p>・北日本図書館連盟の担当館として北日本図書館大会を開催した。(26)</p> <p>・文部科学省主催の図書館地区別研修を開催した。(26)</p> <p>・国立国会図書館との人事交流を通じ、職員の研修を深めると同時に情報交換に努めている。(27)(再掲)</p>
		<p>・図書館員のスキルの向上に役立つ情報の提供を行う。</p>	

<p>2 高等教育機関、文化施設等関係機関との連携を図ります。</p>	<p>①高等教育機関とのネットワーク体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふくふくネット」を活用した、物流の活性化を図る。</li> <li>・「ふくふくネット」を活用した、図書館職員の相互研修の充実を図る。</li> <li>・福島県内大学図書館連絡協議会等のネットワークを駆使し、他館種の職員との情報交換や、物流体系の円滑化等の強化と拡大を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふくふくネット」により、参加館間で資料の効率的な運用を図っている。(継続)</li> <li>・福島県内大学図書館連絡協議会へ職員を派遣し、情報の交換を行っている。(継続)</li> <li>・福島県内大学図書館共通利用証を発行し、利用者の利便を図っている。(継続)</li> <li>・福島県内大学図書館連絡協議会の年次事務局館として連絡調整を行った。(27)</li> </ul>
	<p>②関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内文化施設との連携事業を継続的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立美術館との連携による「あーとなおはなしかい」を開催。(継続)</li> <li>・磐梯山ジオパーク協議会等との連携による展示「いま、磐梯山ジオパークが面白い!」を開催。講演会等を実施した。(25)</li> <li>・関係機関との連携により、「ふくしまを知る連続講座」を開催している。(26～)(平成26年度：6回、平成27年度：5回(予定))</li> </ul>
	<p>③図書館関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関との連携による事業の創出を図る。</li> <li>・県内外の図書館関係団体との連携調整を図り、地域図書館の拠点として情報の共有と提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県社会教育課主催の「読書と科学のコラボ事業」として各種事業、イベントに職員を派遣した。(25)</li> <li>・関係機関との連携により、「ふくしまを知る連続講座」を開催している。(26～)(平成26年度：6回、平成27年度：5回(予定)) (再掲)</li> <li>・ふくしまサイエンスふらっとフォーラム主催のサイエンス屋台村に参加し、資料の展示を行った。(25～) (再掲)</li> <li>・国立国会図書館、日本図書館協会、北日本図書館連盟との定期的な連絡に努めている。(継続)</li> <li>・国立国会図書館との人事交流を通じ、職員の研修を深めると同時に情報交換に努めている。(27) (再掲)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立国会図書館等の総合目録及びレファレンスデータベースへのデータ提供を継続的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立国会図書館の総合目録ネットワークに対し、当館蔵書のデータ提供を行っている。(継続)</li> <li>・国立国会図書館のレファレンス協同データベースに対し、当館のレファレンス事例を提供している。(継続) (再掲)</li> <li>(25年度：30件、26年度：5件、27年度：提供に向け作業中)</li> </ul>

《震災後の福島県立図書館における被災地支援状況》（平成27年10月末現在）

【資料の貸出】	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	移動図書館	支援助出	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)	葛尾村(三春町貝山仮設)(2回)
仮設住宅(避難所)		*ビッグ/レットふくしま 1,000								
セツト貸出										
移動図書館										
仮設校(小・中学校)										
支援助出										
セツト貸出										
移動図書館										
仮設校(高等学校)										
支援助出										
セツト貸出										
移動図書館										
支援助出										
セツト貸出										
【合計】										
【支援資料の提供】										
仮設住宅(避難所)										
仮設校(小・中学校)										
仮設校(高等学校)										
教育委員会(図書館・公民館)										
【合計】										
【行事支援】										
仮設校(特別支援学校)										

◆指標

指標	プラン策定時の基準値	目標値 (平成29年度)	現況値	傾向の評価
年間貸出 総冊数	平成22年度 :239,619冊 (平成23年度:104,646冊)	増加を 目指します。	平成26年度末 :185,121冊	・震災等の影響により1度落ち込んだ数値も、翌年には75%程度に回復したが、その後は横ばい状態となっており、基準値には達していない。来館者の増加を踏まえた事業展開が課題と言える。
(うち) 学校図書館 への 貸出冊数	平成22年度:4,394冊 (平成23年度:2,954冊)	6,000冊 以上	平成26年度末 :7,098冊	・基準値及び目標値に対して増加している。近年の学校図書館推進に関する動きが後押ししていることが推察される。
年間受入 総冊数	平成22年度 :13,716冊 (平成23年度:23,991冊)	増加を 目指します。	平成26年度 :28,243冊	・基準値を上回わり、平成23年度以降はほぼ横ばいであるが、さらなる予算確保に努める必要がある。
年間調査 相談件数	平成22年度 :12,591件 (平成23年度:4,231件)	増加を 目指します。	平成26年度末 :12,133件	・基準値にはやや及ばないが、震災後の下降時からは年々上昇傾向にあり、基準値の達成が見込まれる。
情報発信 件数	講座展示会等 平成22年度:61回 (講座:44回 展示17回) (平成23年度:19回) (講座:10回 展示9回)	増加を 目指します。	平成26年度:98回 (講座:29回) (展示:69回)	・時宜に照らした構成を図ることに努めた結果、各種展示(企画展、至宝展、ミニ展示、時事展示)及び、講座の実施、職員の講師派遣等の機会増加につながった。
	資料発行 平成22年度:38回 (平成23年度:20回)	増加を 目指します。	平成26年度:63件	・館報「あづま」や図書館だよりの他、上記事業との関連として、「本の森への道しるべ」や、関連資料リスト等を作成したことで、増加につながった。
市町村における 子ども読書活動 推進計画の 策定率	平成22年度:47.5% (平成23年度:61.0%)	85%以上	平成26年度末 :94.9% (56/59市町村)	・年々増加している。当館の立場としては、策定環境の醸成を支援するよう努めたい。 (25年度末:84.7%) (24年度末:76.3%)
図書館情報 ネットワークシ ステムへの 参加市町村数 (横断検索)	平成22年度:8市町村 (平成23年度:14市町村)	23市町村 以上	平成26年度末 :21市町村 (福島県男女共生センタ ー図書室を含む)	・年々増加している。平成27年度10月現在で22市町村が参加。未参加自治体についても、事業説明に努めたい。 (25年度末:20市町村) (24年度末:19市町村)

【参考】数字で見る福島県立図書館の5年間

統計項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (10月末現在)
入館者数	232,133	85,545	169,623	174,911	167,097	105,162
館外個人登録者数(新規)	4,171	2,019	3,248	3,285	3,577	2,045
館外個人登録者数(更新)	1,831	996	1,773	1,452	1,260	866
館外個人貸出冊数	187,663	71,294	134,867	130,545	141,191	84,905
館外個人貸出者数	50,457	19,792	37,180	36,274	39,591	23,521
遠隔地返却冊数	6,794	2,577	6,407	5,788	6,205	3,295
レファレンス件数	12,591	4,231	8,232	11,585	12,133	7,395
インターネット端末未利用件数	9,149	3,552	5,684	5,638	6,790	4,286
HPアクセス数(トップ)	171,916	143,057	132,462	130,593	135,196	84,905
複写処理件数	5,847	2,375	4,813	4,963	4,932	3,272
複写処理枚数	73,138	27,867	72,293	59,778	55,808	33,011
相互貸借貸出件数	1,608	824	1,363	1,505	1,564	887
相互貸借貸出冊数	6,519	3,996	5,657	5,749	6,331	3,285
相互貸借処理件数(借受含む)	1,842	969	1,652	1,674	1,793	1,010
相互貸借処理冊数(借受含む)	6,823	4,198	5,902	5,981	6,652	3,528
移動図書館あづま号貸出冊数	31,312	22,021	25,789	23,376	25,589	19,398
市町村支援貸出冊数	10,514	4,732	5,336	4,333	10,876	4,302
学校図書館支援貸出冊数	1,264	602	536	215	0	1,500
学校図書館支援ネット貸出件数	86	54	84	114	118	53
学校図書館支援ネット貸出冊数	3,130	2,352	3,255	4,451	5,063	2,317
特別貸出(研究機関等)件数	21	65	105	104	101	66
特別貸出(研究機関等)冊数	1,066	862	647	586	1,134	539
個人宅配件数	26	30	69	42	26	20
個人宅配冊数	151	215	450	265	195	130
年間貸出総冊数	239,619	104,646	176,087	169,255	185,121	113,929